



・・* 高等部就業（生活）体験先紹介 *・*・*

第1回就業（生活）体験を行い、本校、分教室の高等部2・3年生のうち17名が県内の施設・事業所で体験をしました。生徒たちの体験内容や施設・事業所の紹介をします。

<生活介護あゆみの郷サテライト（富山市）> 大沢野にある生活介護あゆみの郷の分所です。高齢者支援施設せせらぎの郷内にあります。施設内は広々としています。入浴ができ、看護師がいます。午前は入浴やストレッチ・機能訓練を行い、午後はレクリエーションなどを行っています。体験では、スタンプ等での制作活動やかるた遊びをしたり、ブランコに乗ったりしました。	<ジョブステーションさくら奥田事業所（富山市）> 就労継続支援B型と生活介護がある多機能型の事業所です。体験では、部品の組み立てや仕分け、ねじ回しなど、様々な作業の中から、できそうなものを選んで取り組みました。慣れてきたら、少しずつ作業量を増やしたり、難しい作業に挑戦したりしました。作業内容が豊富で、自分のレベルに合った仕事ができる事業所です。
<くだいだい（富山市）> 今年、水橋から上富居に移転しました。利用者さんが集う広いスペースと休憩する部屋があります。入浴ができ、看護師が常駐しています。レクリエーション、季節の飾りやおやつ作り、アロマテラピーなど、日替わりで活動が行われています。体験では、みなさんと一緒にボウリングをしました。とてもにぎやかでした。	<デイサービス元・気・楽（上市町）> 富山型デイサービスの事業所で、高齢者の方と一緒に過ごします。近くに丸山総合公園があり、散歩することもあるようです。体験では、塗り絵をしたり、職員さんと玉入れをしたりしてゆったりと過ごしました。入浴や食形態など、相談して提供してもらうことができます。
<志貴野ホーム障害者福祉センター（高岡市）> 高岡市中田地区の庄川沿いにある施設です。初めての施設でしたが、体験当日はリラックスして入浴をしたり、利用者の方々と一緒に、カラオケやゲームなどのレクリエーションを楽しんだりすることができました。	<ファクトリーかたかご（高岡市）> 高岡市立二塚小学校の向いにある、就労継続支援B型事業所です。おいしいクッキーを毎日心を込めて作っておられます。体験では、生地を切って、ちょうど5gにする作業をしたり、衛生面への配慮について教わったりしました。

就業（生活）体験は、高等部2・3年生の希望者が、6月と11月に行います。2年生の6月は1か所ですが、それ以降は2か所での体験が可能です。日数は本人、保護者の希望をもとに、体験先と相談して決めます。生活介護の体験は1、2日間程度、就労継続支援の体験は3～10日程度です。

3年生の11月の体験は、卒業後の進路先として希望する事業所に行きます。それまでに、いろいろな事業所や施設の見学と体験を行うことを勧めています。

【その他の体験先】

・障害者支援施設ひゞき（魚津市）・つつじ苑（滑川市）・生活介護あゆみの郷（富山市）・わいあっと（富山市）・小さな幸せの家（富山市）・生活介護事業所第1あすなろ（富山市）・きらら（富山市）・シビックプライド新湊（射水市）・ひらすま（高岡市）・高岡市障害者福祉センター（高岡市）・マーシ園木の香（南砺市）

★見学を希望される方は、いつでも学校にご相談ください。

・・.....・・ 進路学習会 *・・.....・・*

7月16日に分教室で行われた「進路学習会」の内容についてお伝えします。

演題「障害福祉サービスの利用と、具体的な事例について ～相談支援事業所の視点から～」

社会福祉法人高岡市身体障害者福祉会志貴野相談支援センター 相談支援専門員 門廻 久美子 氏

○センターの概要について

平成13年に高岡市博労本町のふれあい福祉センター内で、高岡市志貴野身体障害者相談支援センターとして開所し、令和6年には志貴野相談支援センターに改称した。障害がある方やご家族からの相談に応じ、情報の提供を行い、障害者本人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援を行っている。

○障害福祉サービス制度とサービスの利用について

障害福祉サービスは、介護給付と訓練等給付に大きく分けられる。介護給付を受けるには、市町村からの障害区分認定が必要で、その後相談支援専門員のアセスメントによる計画作成を経て、市町村でサービスの種類や支給量が決定され、受給者証が交付される。福祉サービス事業所との契約後、計画に基づいてサービスの利用開始となるが、相談支援専門員による一定期間ごとのモニタリングや訪問も行われ、安心して利用ができる。

また、障害者本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援するサービス、「就労選択支援」が10月から開始される。

○事例紹介

下図（すべて資料から抜粋）のIさんのケースのように、本人に希望する生活についての聞き取りを行い、それらを実現するためには、どのようなことができるかを一緒に考え、話し合いを行うことで、①から⑤の本人の希望について、それぞれの関係者へ繋げることができた。

4 事例紹介 Iさんのケース

40代 女性

9歳の時に難病の筋ジストロフィーで身体障害者手帳を取得

特別支援学校・高等部卒業後…約2年間作業所で勤める

日常生活全般において介助が必要

口頭でのコミュニケーション可能

介助者は主に母



本人の望む生活は何か？



どんな支援がいいか一緒に考えます



《本人に希望する生活を聞き取る》

- ① 身体が少しでも楽になりたい
- ② 入浴したい
- ③ 母の負担を減らしたい
- ④ 人との楽しい時間を大切にしたい
- ⑤ 安心して受診したい

たくさんの関係者に繋がりました



○質疑応答など

Q1. 卒業後のデイサービスでは、月ごとの入浴回数に制限があるか？

A1. 上限はないが、本人の実態に応じて各市町村の福祉課と必要性について相談して計画を作成する。

Q2. 移動支援事業について、市町村をまたいでサービスを利用することはできるのか？

A2. 各市町村ごとの独自の福祉サービスである。支給の範囲に応じた距離や時間等での利用が可能である。

Q3. 療養介護施設について話があったが、県内にはどのくらいあるのか？

A3. 富山病院、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、あゆみの郷、北陸病院がある。

その他、施設や人手が大変不足しているという現状があるため、日頃から支援員や施設の方とコミュニケーションをとり、情報を収集したり共有したりすることが、将来に向けて大切であることが話題に挙がった。

<キャリア教育> キャリア・パスポートの活用



キャリア教育に関わる行事や体験、学習活動について、児童生徒が振り返った内容をワークシートに記録し、キャリア・パスポートとしてファイルに残しています。

行事などの振り返りでは、そのときの状況や気持ちを思い出せるように、写真や動画を見ながら頑張ったことや楽しかったこと、できるようになったことなどについて対話し、写真を貼ったり、書いたりして、一人ひとりに合わせた方法で記録しています。

保護者の方とは、ワークシートを教室や廊下に掲示したり、懇談会で一緒に見ながら話をしたりして、成果や課題を共有していきます。児童生徒が自分の成長を振り返るだけでなく、保護者の方や担任以外の教師も児童生徒のことを理解し、話をしたり、褒めてもらったりするきっかけになればよいと考えています。

進路情報

4月の進路希望調査で、「卒業後に利用できる事業所について教えてほしい」とのご意見をいただきました。高等部玄関横の進路情報コーナーや情報検索サイトWAMNET(ワムネット)をご活用ください。また、相談支援事業所の相談支援専門員に相談し、情報を得ることもできます。



地域ごと、障害福祉サービスごとに、事業所情報が検索できます。

進路指導の取組

本校では、在学時から卒業後のアフターケアまで継続して進路指導を進めています。他にも進路学習会の実施や進路だよりの配付、進路掲示板等の活用をとおして、情報を提供しています。お聞きになりたいことがありましたら、担任を通じて、いつでもご相談ください。

卒業後 ↑	3年生	アフターケア 卒業後2年間、ご家庭と連絡を取ったり、進路先を訪問したりして、卒業後の困りに対応します。 移行支援会議 本人、保護者、相談支援専門員、卒業後の進路先事業所等、関係機関が集まり、卒業後の支援体制を確認します。 【就業（生活）体験】 3年生 11月：希望する卒業後の進路先で実施します。 3年生 6月：進路選択に向けた新たな事業所での体験はこの機会までです。 2年生 11月：最大で2か所、5日以内で実施します。 2年生 6月：1か所、3日以内で実施します。 就労・障害福祉サービス利用の場合
	1年生	就業（生活）体験見学 高等部2・3年生の就業（生活）体験を見学します。 進路希望調査 高等部卒業後の進路について聞きとり、必要な情報提供や指導を行います。（1～3年生）
	高等部	
	3年生	進路相談 中学部卒業後の進路選択に向けて、必要な情報提供や支援を行います。
↑	2年生	【職場体験】 近隣の福祉施設等で、作業や活動の体験をします。 進路希望調査 中学部卒業後の進路について聞き取り、必要な情報提供や指導を行います。（1～3年生）
	中学部	
↑	6年生	【12歳のチャレンジ】 放課後等デイサービス事業所等の身近な場で、お手伝いや仕事の体験をします。
	1～5年生	進路希望調査 小学部卒業後の進路について聞き取り、必要な情報提供や指導を行います。 進路に関するアンケート 進路について知りたいこと等を聞き取り、必要な情報提供を行います。
	小学部	